

京都の自然環境を調べるために

スマホでも  
報告できます生きもの調査に  
参加しませんか?どなたでも  
参加できます

— 京都市内で見られるツバメ、ハグロトンボ、セミを見つけて報告してください。 —

## 令和3年度 京の生きもの生息調査

## ツバメ



害虫を食べてくれる益鳥として古くから親しまれ、巣のある家には幸せが訪れると言われていました。ツバメの居場所を調べることで、巣の材料となる泥や草、エサとなる虫が捕れる畑や水田、水辺の広がり分かります。

大きさ	観察できる時期	観察できる場所
約17cm	3~10月	市街地、農地など

## ハグロトンボ



お盆の前後によく見掛けることから、京都では先祖の魂を意味する「お精霊(おしよらい)」トンボとも呼ばれます。ハグロトンボの生息場所を調べることで、水草の豊かな水辺と緑地の広がり分かります。

大きさ	観察できる時期	観察できる場所
約6cm	5~10月	水辺、草むらなど

## セミ

日本には約30種のセミが生息しており、種によって生息場所、鳴き声が異なります。また、「土の中で7年」と言われますが、土の中で暮らす期間も実は種によって異なり、多くが2~5年です。どこにどんなセミがいるかを調べることで、その周辺の自然環境が分かります。

## クマゼミ



6~8月

## アブラゼミ



7~9月

## ミンミンゼミ



7~9月

## ツクツクボウシ



7~9月

## ヒグラシ



6~9月

市街地で見られる

里地里山で見られる

京の生きもの生息調査の詳細についてはこちらを御覧ください。  
「京の生きもの生息調査」説明ページ▶

京都市  
CITY OF KYOTO

京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C005004

# 調査の報告方法

## ● 報告内容

- ① 見つけた生きもののお名前  
【ツバメ、ハグロトンボ、セミ(クマゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ)】
- ② 見つけた月日
- ③ 見つけた場所
- ④ 写真(任意)
- ⑤ 気付いたこと(任意)

## ● 実施期間

令和3年 4月15日(木)～  
令和3年10月31日(日)

※本年4月1日～4月14日に発見したのも報告可能です。

## ● 報告方法

### ① 「京・生きものミュージアム」

京都市生物多様性ポータルサイト「京・生きものミュージアム」内の「京の生きもの生息調査」報告フォームにアクセス、必要事項を入力してください。

<https://ikimono-museum.com/form-report/>

京の生きもの生息調査



### ② 郵送又はFAX

以下の調査報告票又は「京・生きものミュージアム」に掲載の「調査報告票」に必要事項を記入し、郵送又はFAXで送付してください。

郵送又は FAX で報告の方は以下を御記入いただき、お送りください。

## 調査報告票

お名前(またはニックネーム)		
種別(生きものの種類)	見つけた月日	気付いたこと
	/	
見つけた場所		
住所：京都市 区		(町名まで記載ください。)
地図(地図を貼るか手書きをし、見つけた場所を記載ください。)		

送付先 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
京都市環境政策局環境企画部環境管理課宛

FAX 075-213-0922

TEL 075-222-3951



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

